

項目	施策番号	委員意見	事務局回答
計画全体	—	町民に説明しやすい、わかりやすい計画とはどのようなものか。	行政計画として行政職員が使うだけでなく、まちの方向性を決めていく総合計画として町民にも理解してもらう必要がある。町民が読んでも理解できる、また、町民がまちづくり活動を推進していく上で、活動指針となるような計画ということを考えている。
重点プラン	—	計画の中に幾つかのものを記載して位置づけるということか。	重点プランの数や方向性はまだ決まっていないが次回までには提示したい。
重点プラン	—	重点プランの内容によって施策の記述が変わってくることも考えられる。重点プランになりうるものを各課に聴くことは考えていないのか。また、総合戦略との関係はどう考えているのか。	4月末に実施したヒアリングの中でも目玉となる取り組みを聞いており、それらも踏まえ、基本計画の中から全庁横断的に取り組むべきもの、戦略的に重要なものなどをピックアップするか、もしくはいくつかの施策を組み合わせることで重点プランを作成することを検討している。総合計画と同時並行で策定された総合戦略の中でも集中的に推進すべき事業が記載されており、それらに関連する基本計画の施策を取り上げて重点プランとすることなどが想定される。まずは分野別施策を固めてから重点プランを検討したい。
基本計画	4-1-1-2	計画策定における政策的な意思決定の視点が薄れている。役場周辺の有効利用に関連して下水道の整備をどのように判断すればいいのかという、幹事会での指摘も理解できる。	
基本計画	7-2-3	【現況と課題】の文章の中で「景気はゆるやかな回復基調が続いています」との表現があるが、5年間の計画期間がある中でこの表現はどうか。	本年度の予算の施政方針の文章から引用している。そのあたりについては十分注意したい。
基本計画	全体	総合戦略に位置づけられている事業をどのように基本計画の中に盛り込んでいくのかを整理する必要がある。	
町民参加	—	まちづくりカフェでの意見の反映は主に実施計画だと思うが、基本計画でも何らかの反映の形を見せることが出来るよ	

項目	施策番号	委員意見	事務局回答
重点プラン	—	重点プランは位置づけとして非常に重要になる。基本構想があり、その下に重点プランがあり、さらに基本計画があるという関係だとすれば、重点プランが基本構想と基本計画をつなぎ役として機能するように策定すべきではないか。	どのような目的で重点プランを設定し、どのような効果を目指しているのかということをきちんと説明できるように重点プランを作っていく。
基本計画	—	里山、山林、森林などの様々な表現が混在している。町としての考え方をきちんと整理して文言を使うべき。	
基本計画	1-1-1	【現況と課題】の文章の中で、「地球温暖化計画」が「環境基本計画」の前に来ている。計画としては「環境基本計画」の方が上位計画ではないのか。	整理しきれしていない部分がある。再度精査させていただきたい。
基本計画	5-1-2-1	「地域通貨の利用拡大」とあるがどうやって拡大するのか。	
基本計画	5-2-1-2	ブランドの創出とあるが、具体的にどのようなことを取り組むのかがわかりにくい。	
基本計画	2-1-1-3	食育については平成26年度から取り組んでいるのに新たに取組むような記述になっている。	
基本計画	3-1-1	学校教育の分野など、国の方針が大きく変わっているものもある。そのあたりもきちんと町としての方針を出していく必要がある。	